2022 年（令和 4 年）1月 1 日
くげぬま探求クラブ

会報 くぐひ

第 108 号（正月号）

◇　くぐひ（鵠）は白鳥の古い呼び名。鵠沼には昔たくさんの白鳥が飛来したことによる　◇

新年を迎えて

世話人副代表　田中 章

皆さま、あけましておめでとうございます。

本 2022 年がクラブ員の皆さまとご家族にとって、お健やかで幸福な一年になりますようお祈り申し上げます。

さて、昨 2021 年は新型コロナウイルスによるパンデミックが発生後 2 年目となりました。年頭では「アフターコロナ」となるか、との期待もありましたが、陽性者数の増加は止まず、第 5 波の到来まで迎えました。そのような状況下でくげぬま探求クラブの活動も引き続き大きな制約を受け、鵠沼地区公民館まつりも 2 年続けて中止となりましたが、屋外活動である鵠沼松が岡公園愛護会、藤が谷公園愛護会、農園部会は年間活動を継続し、その他幾つかの部会でも感染対策を施した上で屋内での活動を順次再開しました。似歌会は「通信句会」という新たな形式で実施。これらは、くげぬま探求クラブの存在意義を理解し、何としてでも活動を続けていこうというクラブ員の熱意の賜物だと思います。油断大敵ですが、本年は全ての部会がフルに活動再開出来るよう願って止みません。

社会に目を転じると、コロナ禍で開催が危ぶまれた 2020 東京オリンピック・パラリンピックは 1 年延期の末無事開催され、当地の江の島ヨットハーバー（1964 年の東京大会時に使用するため建設された、日本最大級の公共ヨットハーバー）でセーリング競技が行われました。くげぬま探求クラブ憲章に「私たちは地域の人たちと風景を愛します」とありますが、我々クラブ員にとって嬉しい出来事は、鵠沼海岸在住の都筑有夢路選手がサーフィン女子競技で見事銅メダルを獲得したことです。都筑選手は市立湘洋中学校卒業生、オリンピック開催後に藤沢市から市民栄誉賞が贈られました。

くげぬま探求クラブとしては、昨年 9 月に「第 14 回地域活動見本市」が市内の F プレイスで開催され、我がクラブを含め 15 団体が参加、大木代表が 5 分間のプレゼンテーションを行いました。残念ながら当日は無観客での開催となり、その模様は動画で配信されるのみではありましたが、多くの方が見てくださったことと存じます。また、鵠沼公民館の各サークルでは、鵠沼地区公民館まつりの中止で展示発表の場がなかったため、今年 1 月から 3 月迄の間、パネル展示が 1 週間単位で行なわれることとなり、くげぬま探求クラブ、ヤングハーツ、ヤングブラザーズがそれぞれ出展します。延べ 3 週間に亘って行なわれますので、大いに期待したいところです。

また、くげぬま探求クラブは 2023 年 4 月に創立 30 周年を迎え、今年はその“助走期”となります。昨年小山さんをリーダーとするアーカイブ委員会が発足しましたが、クラブの長い歴史を振り返ると同時に、新たな発展の道も“探求”していかねばと思います。加えて、引き続き新入会員の獲得が最重要課題の一つであることは言うまでもありません。

地域により貢献出来る、魅力あるクラブとなるよう一層頑張りましょう。

２０２２年　年男登場

年頭に当たり、今年の年男の抱負を投稿していただきました。寅年生まれは７人です。

年男のつぶやき

鈴木 英紀

令和３年 11 月 30 日、千葉県佐原にある伊能忠敬記念館を訪ねました。

70 歳のとき、「四千万歩の男」（井上ひさし作）に出会ったのがきっかけで、時と場所を問わず歩数だけなら、いつかは届くはずと思い立ち、数え始めました。

あれから 13 年が経ち、ついに４千万歩を超えることができました。

お礼と感謝を込めて昭和初期の風情の残る忠敬ゆかりの地に初見参したというわけです。

これからも早朝の浜辺散歩を一日のはじめとして、程よく歩き続けよう。

免疫力の大家・安保徹博士の提言「無理せず、楽せず」を拝借して、明るく、元気に、軽々と過ごそうぞ！

アッという間の 27 年

谷村 彪

私の入会は 1994 年５月､水野さんが同期である。入会のきっかけは鈴木（英）さんに「会の中に山の好きな人（加藤さん）が居る」の一言であった。即、健康部会に参加するが翌 1995 年７月の例会（湯河原滝巡り）で加藤さんが怪我をされ長期療養が必要となったため健康部会を引き受けることとなった。以来、山登りとウォーキングの日々を過ごすことになる。

山に関しては地元や学生時代の山好きの友達や、“湘南山楽会”（同好会）のメンバーとして数々の経験をした。探求クラブの面々と行ったのは夏山では新穂高温泉から槍ヶ岳～上高地、中房温泉から燕岳～大天井岳～常念岳～蝶が岳縦走、そして秋の尾瀬ヶ原の草紅葉等々。2004 年には鈴木（英）さん、故黒川さんとヒマラヤ街道をタンポチェまで登り、肉眼でエヴェレストを見ることもできた。

健康部会はほぼ 200 回目を迎えるが、２回実施の中伊豆からの“河津七滝”、探求クラブ創立 10、15、20 周年記念の３回の“八ヶ岳ウォーク”が忘れられない。

他に私が発起人となった部会にはハモル会（後のヤングハーツ）、なつかしの名盤愛好会があるが紙面の都合上今日は語れない。とにかく「アッと言う間の 27 年」であった。

８回目の寅年を迎えるにあたって 雑感

東田 正喜

光陰矢の如しと言われるが気が付けば早や８回目の寅年を迎えるまでの齢を重ねてきたことに驚く。

今日まで生かされてきたことに感謝。令和４年は 36 年に一度の周期で巡ってくる「五黄の寅」の年だそうだ。寅年生まれの人は前向きでチャレンジ精神が強く、どんなことにも強い信念を持って挑んでいく傾向があるとか、私には当てはまりそうにもない。

さて次の寅年まで生かされるか、確かなことは残された地上の時間はそう多くはない。小さな存在だが残された時を自分なりにノーブルな生き方を出来ればと願う。「私は裸で母の胎から出て来た。また、裸で私はかしこに帰ろう。主は与え、主は取られる。」（ヨブ記）

新年の儀式

田中 章

2022 年、寅年生まれの私は 72 歳、年男となる。年男とは、辞書には「その年の干支に当たる男性」の他、「一家を代表して新年の諸儀式を行なう役の男性」とある。

門松を立て、座敷を清め、若水をくみ、歳徳の神をまつる神棚の飾りつけをする習慣が日本にはあり、実際、先祖が安土桃山時代からの神官で神道である妻の実家では、水道の蛇口にも注連縄飾りをし、年男でなくともそれらの行事を清々しく行なっていたそうだ。義父が年男の年の節分には裃を着て豆まきをしたとのこと。

今や廃れつつあるそのような習慣は迷信の類いではなく、健康と幸福を願い、自らの住まいを清潔に保つ為の先人の知恵ではなかっただろうか。

「年男？」

池田 雄一

定年後初めての年男、今回で 6 回目となった。おめでたいのか？おめでたくないのか？ あまり年男って意識していなかったが、この歳になると次はどうなるだろうと思ってしまう。

探求クラブに入って 9 年、いろいろな形で自分なりに活動にトライして来たがどこまでやれたか疑問である。クラブ内ではまだまだ若いつもりでいても実年齢には勝てない、足腰が弱くなり身体のあちこちに問題を抱えて気持ちも軟弱で、何事も続かなくなって来ている。

次の年男までマイペースで、探求クラブを中心に諸先輩の導きに頼り、これからの生活を楽しんで行くつもりである。

クヨクヨしない・深く考えない・反省しない

小川 隆

年齢だけは何の努力もなく増えていくようで、いつの間にか 6 回目の年男。「クヨクヨしない・深く考えない・反省しない」をモットーに、ゆる～く、それなりに楽しい人生を送ってきたが、次の年男の時も同じようなコメントが出来れば何より。おおよそ努力や根性、継続等という言葉とは無縁な人間だが、加齢とともに偏屈になりがちな己を諫める為に積極的に新しいことに挑戦している。昨年はビーチクリーン活動に参加したり、連れ合いのお付合いで卓球も始めた。まったくの球技オンチであるが、医療費 1～2 割負担対象ご婦人たちに囲まれ、これはこれで結構ハマっている。まだまだやってみたいことが一杯。さて今年は何に挑戦しましょうか？

出会いと学びの喜びを知る

坂口 純則

本年、72 才になる年男です。退職して 2 年目、社会人間としては「新人」ですが、少し新しい世界が見えてきました。

それは、出会いと学びの喜びを知ることだと。趣味の音楽は、ピアノを学ぶことで感性を磨き、幅広く、深く音楽を楽しんでいければと。生きる意味を問う哲学は、仏教で学び、「死ぬことは生きること」即ち、死の瞬間まで出会いと学びの時間（とき）を大切にし、それを精一杯楽しめばいいんだと。

最後は社会の学びです。探求クラブとの出会いこそ、私が求めていたもの。ここには、たくさんの出会いと学びが詰まっています。

皆様と共に、これからの人生を楽しんでいきたい、と思っています。感謝！

地域活動部会紹介

極楽部会の再開について

嶋村 堯敏

2015 年 8 月に第 1 回の部会を開いて以来 6 年が過ぎた。極楽部会の設立趣旨はホームページにあるので見ていただきたいが、ここ 2 年ばかりはコロナ騒ぎでお休みをとったことから、実質 4 年の活動期間に終わっている。

4 年間に俎上に上がったテーマは「老い」をどうやって過ごすかが中心で、それこそ健康管理からお墓まで多岐にわたっていた。部会のコアメンバー以外や一般の人向けの講座、アンケートなども実施する中で、当事者である私たちには頭の体操になったが、果たして問題に直面したときに実用となるかどうかの疑問は残った（私にとっては頭の体操といわれるものは、えてして忘れやすく、役に立たなかったことが多い）。

今年になって部会を再開するにあたり、本当に部会を継続する価値があるのか、部会長一人でテーマを決めるとメンバーの意向が反映されなかったり、テーマが偏るおそれがあるなどの問題、あるいは単なる知識の会得に終わらせないためにはどうすればいいか、など参加者全員による検討結果を踏まえて、去年 10 月から新たな方式を採り入れて部会が再スタートした。

考えるまでもないことだが、私たちは確実に年を重ねており、極楽部会のテーマはこれまでにも増して身近なものとなっている。これまでは頭の体操にすぎなかったものが切実な問題への実用の対策になりつつある。

身近な問題として部会参加者の知りたい事柄や経験などを汲み上げてテーマとし、出来れば自分たちが経験したことの情報交換や考え方のやり取りの場としても考えたい。

テーマについては参加者から自発的に出されたものを採りあげることとし、昨年 10 月は、坂口さんを講師として「死生観」を話し合った。11 月は池田修さんが先生となって「家族信託」を採りあげた。財産の管理などは、いずれも近いうちに考えざるを得ない問題で、これからも同様の課題が出てくることを大いに期待したい。

ビフォア・アフター

自分で増やそう、知り合いの輪！

森 正孝

私が入会しましたのは 2019 年 2 月でした。以来 2 年 8 か月（原稿作成時）しか経っていませんが、その間、平成から令和に改元され、新型コロナ感染症の津波が繰り返し押し寄せ、世の中が大きく変わりました。私も 60 代から 70 代へとなりました。

当クラブでの活動としましては、鵠沼松が岡公園愛護会、サロン会、健康部会に加入し、不定期に子どもと遊ぶ会や企業研究部会に参加し、ボウリング大会やゴルフコンペにも参加するという程度でした。公民館まつりには私が所属する他団体の係員として参加するため、くげぬま探求クラブとしてのお手伝いは出来ず、当時は開催されていた花見や忘年会にも日程が合わず残念ながら不参加で、会員としての活動は限られたものだったと思います。

ただ、当クラブに入会したおかげで一気に 50 人近い方々とお知り合いになることが出来ました。この年になりますと、年賀状の枚数が年々減少していくように、知り合いの人が減ることはあっても増えることは中々ありません。大変ありがたいことで、地域に少し根を張ったように感じます。

今年は世話人に選出されたことでもあり、今まで出席していなかった部会にも、見学程度ですが、顔を出して皆さんと接する機会を増やしていきたいと思っています。コロナで休止されていた部会も、そろそろ活動を再開されるでしょうから。そのようにして、入会アフターを充実させたいと思います。

私が入会した月の例会資料に添付されていた会員名簿では、会員数は 48 人でした。ところが現在の会員数は 47 人で、私以降に入会された会員が 8 人いらっしゃいます。この数字の不思議をみて、やはり組織は常に会員増加を心掛けなければならない！と、改めて強く感じるところです。

「会社人間から 10 年」

奥村 誠

60 歳の定年退職後は、引き続き仕事を続ける事に迷いはありませんでした。但しフルタイムでの仕事は避け、4～5 年は働こうと転職先を探しました。決まるまで数ヶ月要しましたが、転職先は小さな航空機の貿易商社で週に 3 日程度の勤務を始めました。

IT 関係の仕事を希望して入社したのですが仕事を始めてみると、自分でも意識していなかった現役時代に身に付けた雑多なスキルが役に立ち、小さな会社なので仕事の範囲が広がり、営業と経理以外の仕事は何でもするようになりました。

そのような訳で仕事はやりがいのあるものとなりましたが、簡単に退職できなくなり、後継者が見つかるまで 9 年間その会社に席を置きました。

退職するまで、次のことを考えていなかったのですが自分の性格上、家にじっとしていられませんでしたので、地域での居場所を求めることになり、自分の得意な IT 技術が活かせそうな「湘南ふじさわシニアネット」に入会しました。現在も継続して席をおいていますが、探求クラブへの入会はその後で、今から 5 年前になります。

アフターで何が変わったのか考えると、それまでの交友が疎遠になってしまった代わりに地域活動に参加することで、利害や上下の関係もない方々との新たな交友の輪が出来たことです。それだけではなく、活動を通じて地域社会に貢献しているという喜びも味わっています。

特に探求クラブは歴史あるサークルの為、高齢な方が多く、その方たちが活躍されている姿を拝見し、元気を頂き、心身共に充実した日々を過ごしています。

藤沢市は高齢者の健康維持のために「地域で輝くシニアになろう」と提唱していますが、そうなればともと思っています。

シリーズ　明日から役立つ気象のはなし
（2）吉良邸討ち入りと南岸低気圧

小川 隆

時は元禄 15 年 12 月 14 日寅の上刻、降り積もった雪の中、本所 吉良邸に向かう大石内蔵助以下、四十七士の赤穂浪士…歌舞伎などでお馴染みの忠臣蔵討ち入りですが このお話し天気の観点からも大いに興味をそそられます。

討ち入りの舞台に欠かせない雪ですが、12 月 14 日は新暦で 1 月 30 日。この時期の江戸（東京）に雪を降らせる立役者は「南岸低気圧」といわれる気圧配置です。日本海側に雪を降らせるのが主に西高東低の冬型気圧配置であるのに対し、太平洋側に雪をもたらすのは多くの場合、本州の南岸（南海上）を進む低気圧、「南岸低気圧」です。実際に東京の大雪記録（観測史上 1～10 位）を見ると、発生は 1 月後半から 3 月初めにかけてで、その要因は全て南岸低気圧です(1953 年 1 月～2021 年 10 月の記録)。

関東などで大雪になると交通機関の乱れや交通

事故、転倒による怪我、農業用ハウスの倒壊等の被害が多発します。実際に東京で最深積雪 23cm を記録した 2018 年 1 月 22 日は本州の南海上を低気圧が通過し（図１）、高速道路では通行止めが相次ぎ、都内で雪の影響とみられる交通事故が 800 件以上発生しました。鉄道のダイヤの乱れや運休も発生し、空の便も成田・羽田空港を中心に国内線の 400 便以上が欠航となり、成田空港では滑走路の閉鎖で約 9,900 人が空港で一晩を過ごすなど大きな影響が出ました。

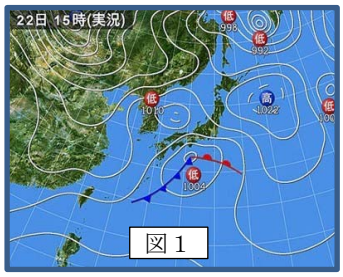

図１

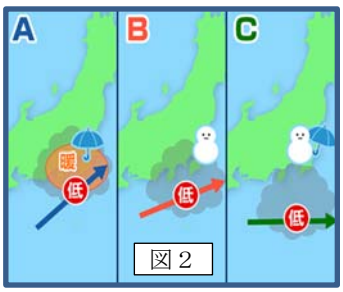

図２

大きな影響を及ぼす南岸低気圧ですが、低気圧の中心が八丈島の北を通過すると南からの暖かい空気の影響で関東などでは「雨」になり、南側を通過すると「雪」になる傾向です。(図２-A.B)。因みに低気圧が八丈島の南を遠く離れて通過すると曇りのことが多いようです（図２-C）。これからの季節、本州南海上を低気圧が通過する予想が出た時は、コースに注目してみて下さい。又、雪に対する注意事項がインターネット等でも紹介されていますので、こちらも併せて確認してみて下さい。

（参考：「雪の少ない地域の雪対策」..NHK.そなえる防災）

https://www.nhk.or.jp/sonae/special/oyuki2/index.html

ともあれ、討ち入りにこの日時を選んだ大石内蔵助の慧眼には驚かされます。当日は茶会を開くため、吉良上野介の在宅が確認されていたのが一番の理由かと思いますが、12 月 14 日寅の上刻（新暦の１月 30 日）といえば一年で一番寒い「大寒」の頃。更に最低気温が出やすい未明であれば、寒さに加へ夜明け前で人目に付きにくい時間帯であることも考慮に入っていたのではないでしょうか。降り積もった雪も討ち入り成功の大きなカギになったと思われます。雪明りで道も明るく、積った雪で足音も消されたことでしょう。ちなみに積もった雪は 60～70%が空気層です。空気層は音を吸収するため、雪の上では足音や衣擦れの音などが周囲に響かなくなります。これを雪の「静音効果」といい、この効果で役人にも気づかれることなく吉良邸に到着できたこともあろうかと思います。

嵐が味方した元寇との戦い、霧が勝敗を分けた川中島の合戦などなど、天気が歴史を動かした事例は数多くあります。史実と異なる天気だったら歴史はどのように変わっていたか等、想像を広げてみるのも楽しい作業です。新しい年、天気の観点から歴史書を紐解いてみるのは如何でしょう？

私の趣味

音楽との出会いと思い出

坂口 純則

今ピアノを習っています。趣味と言えるものは、音楽ぐらいしかなさそうです。そこで、自分史と重ねて、音楽との出会いや思い出について書いてみました。

最初は中学時代・・・ブラスバンド部との出会い

入学した時、担任の音楽の先生から、ブラスバンド部を設立するので、参加して欲しいと言われ、ブラスバンド部に入部することになります。部員は一年生中心の 20 名程度で発足。楽器は、先生の勧めで、テナーサックス。1 年間は、毎日、音出しの練習で、皆文句も言わず、練習に没頭。2 年目から、曲を始める事になり、最初の曲が軍艦マーチ。卒業までには、5～6 曲演奏できるようになりました。メンバーも増え、部の創設に関わった懐かしい思い出です。

次は大学時代・・・フォークソングとの出会い

私は全共闘世代です。70 年安保以降、活動は下火になり、いわゆる「挫折の時代」を迎えます。この時期出会った音楽がフォークソングです。友人の部屋に集まり、高田渡、加川良、吉田拓郎のアルバムを良く聴いていました。彼らの歌は、本当に心にしみました。友人達との青春の良き思い出です。

最後は・・・ＺＡＲＤ坂井泉水さんとの出会い（代表曲「負けないで」）

ポカリスエットのＣＭでＺＡＲＤを知りました。透明感のある声、可憐な容姿、恋の切なさを綴る歌詞。坂井泉水さんの魅力に取りつかれてしまいました。ところが、2007 年 5 月、子宮頸がんで入院中、転落事故により 40 才で急逝。突然の訃報にショックを受けました。青山斎場での追悼式にも駆けつけました。

その後、5 年間、武道館で追悼コンサートがあり、5 回全て参加しました。アルバム作成に関わった演奏家達が多数集結し、坂井さんが残した音源と映像を使って、ライブ並みの迫力あるコンサートでした。参加者は男女半々、年齢層も偏りがないのですが、変わっていたのは、ほぼ全員が、最初から最後まで、立ち放しで、泣いていたことです。坂井さんからは、永遠に心に残る思い出をもらいました。

自由席

80 歳からも健康に挑戦

塩川 昌男

健康の維持、向上のためには色々の方策、行動が求められる。その内容は自身の年齢、健康状態や生活環境などにより変化がある。最近傘寿を迎えた私が現在行っている健康法を取りまとめ紹介しようと思う。

毎朝 6 時頃目が覚めると、起き上がらずにストレッチ体操を行う。足首、膝、股関節、肩、肘、手首、指、首、と関節全部を、それぞれ 20 秒ずつ曲げ伸ばしを行い、20 秒ずつ休める。2 サイクルで 30 分かける。終了後階下のマッサージチェアに 15 分間かかる。もみ動作などは同時に 4～6 か所行われるので、手もみ換算で 1 時間くらいに相当する。その後起床して血圧測定。

朝食の定番は、①酢と蜂蜜漬けのレーズン 10 粒、②チーズ 15 グラム、③ミルクコーヒーまたはミルクティー200 cc、④6 枚切り食パン 1 枚とオリーブ油、⑤亜麻仁油小さじ 1 、⑥バナナ半分、⑦自家製ヨーグルト＋ブルーベリージャム、であとは惣菜類を若干である。飲用と調理用にはアルカリイオン水を使用。毎食後キシリトールガムを噛む。食後 30 分ほどで散歩に出る。夏は日傘を使用。雨天も実施する。午前は 7,000 歩、午後 3,000 歩が目安である。猛暑日や強雨の時は車で湘南モールフィルなどに行き店内を歩く。コロナ下でも散歩に困ることはなかった。この 3 年間で 1 日平均 11,000 歩、計 1,200 万歩（8,000 キロ位）歩いた。渡航用バゲッジ 3 個分程ある全体重を片足に載せながら歩いたり階段を上り下りしたりするのである。よい発汗運動になる。極楽部会で聞いた「病気の 9 割は歩くだけで治る」という長尾和宏東京医科大学客員教授の言葉は励みになる。

昼食は原則的には抜き。カカオ 70 というチョコとホワイトチョコを 1 個ずつ、かりんとう 2 個、昆布飴 1 個程度は摂る。たまにインスタントラーメンや焼きそばを半分くらい食べる。探求クラブで外食の時は普通につきあう。おかげで肥満度の BMI はもう少しで「標準」に入る。午後には庭でゴルフクラブの素振り（I-7 と W-1）を 20 回ずつ。練習場に行くのは億劫だが、素振りは気軽にできる。コースに出ても楽にスウィングできるようになり、散歩の効果もあって疲れなくなった。

夕食時には飲酒するが、市の健康診断でγ-GTP と尿酸値が高いと指摘され 1 年前から節酒している。現在日本酒 1 合と水割り 1～2 杯止まり。ワインを飲むときは日本酒をやめている。ビールはほとんど飲まない。その結果今回の検査では両方の数値が基準内に入った。10 年以上飲んでいる降圧剤は医者と相談して夏場はやめている。探求クラブの飲み会が皆無なので、酒量が抑えられていると思う。意思は行動になり、行動は習慣になり、習慣は体質になるという行動の成熟段階でみると、節酒は行動のレベル、散歩は習慣のレベルだが、飲酒は体質の域に達している。

ボケ防止のために毎日万年筆で漢字の書き取りを 200 字程度、ピアノの練習を 30 分ほど行う。PC のゲームは毎日 1 時間ほど。PC による文字入力の時間は結構長い。文章作成、メール交信、くぐひの原稿関連作業、家内の作業サポートなど多様であり、脳の刺激になっていると思う。加齢により爪に縦線が入るので爪やすりでこすり、ペーパーで磨いている。爪は圧迫すると肩こり解消のツボであり、手指の運動は脳を使う。また、探求クラブ関係の仕事でおもちゃの病院、子どもと遊ぶ会、くぐひ編集会議、印刷作業、公民館まつりなどの行事は体と頭をフル活用しているように思う。家の掃除や家事、庭の手入れ、書類の整理なども最近では面倒だとは思わなくなった。

転倒防止のために階段に手すりを取り付け、夜間は 1 ﾜｯﾄの LED 常夜灯が 3 か所自動点灯する。就寝時には 100 cc程のお茶をペットボトルに入れ、枕元に置いておき、いつでも飲めるようにしている。一晩で大体飲み終わる。枕はいろいろ変えたが、あるメーカーの低反発枕に変えて以来肩凝りが減少し睡眠が改善した。睡眠時間は大体 7 時間程度。睡眠中は電位治療器をかけている。

見てくれが老人の健康にどう影響するかどうかわからないが、私は洗髪剤や育毛剤の選択・使用は熟年の意識高揚に有効だと思う。気持ちが老け込まないようにするにはその種の努力が必要である。

色々おこなっている以上のようなことが健康の維持、向上にどのように効くかはわからないが、「鰯の頭も信心から」と考え、80 歳になってもばかになりきって続けてこうと思う。

「くげぬま探求クラブ」はあなたの入会をお待ちしています。
「会社人間から社会人間へ」を目指す方々は「発行人の大木」までご連絡下さい。
ホームページアドレス　http://kugenumatankyuclub.web.fc2.com/ 、
左の QR コードまたは「くげぬま探求」、「鵠沼探求」で検索してください。

～例会・各部会活動報告～

９月　September

○例会６日(月) 34名◆9～11月の会費徴収◆14回地域活動見本市は 11 日に無観客で開催し動画配信となった◆アーカイブ委員会(仮)が承認され、小山/北岡/水野/長谷川/田中(章)/塩川/奥村/大木/坂口の９名の委員が発表された。
○世話人・委員会 ①世話人会１日６名
②くぐひ制作部 14日(水) 10名 くぐひ107号推敲。
③アーカイブ委員会 18 日 9 名 ◆名称はアーカイブ委員会 ◆ﾘｰﾀﾞｰ小山 ◆作業完了2023年3月31目標 ◆毎月第 3 土曜日開催④メディア委員会･ＨＰ制作部 休会
○鵠沼松が岡公園愛護会５日17名、19日12名 清掃、
○藤が谷公園愛護会 12日９名　清掃等
○おもちゃの病院 コロナ対策のため休院し、内部整理 12日13名(2)、26日10名(1)
○極楽部会22日 公民館13名 今後の運営
○健康部会 夏休み
○農園部会 5日６名、10日４名、22日５名、夏野菜から秋野菜へ切り替え。枝豆、秋ナスなど収穫
○談話室 15 日 12 名　健康談義から地球規模の話題へ。
○デジタル情報部会27日18名 仲介/紹介サイト、スマホの中身、Windows11情報
○似歌会 通信句会 10名 兼題「秋の声」で30句

以下の委員会・部会は新型コロナ感染対策等のため休会
○ヤングハーツ
○鵠っ子囲碁・将棋ルーム○子どもと遊ぶ会 ○災害研究部会 ○サロン会　○探訪部会　○カラオケ部会
○ヤングブラザーズ　○近代史を語る会　○企業研究部会　○なつかしの名盤愛好会　○おひる探Ｑ会

10月　October

○例会３日(日) 37名　14回地域見本市は動画「いきいきシニアサイト」で視聴可能。
○行事　ボウリング大会　13日　9名(1) 江ノ島ボウル
○世話人・委員会 ①世話人会９月29日６名
②くぐひ制作部　13日　11名　第108号編集会議。
③アーカイブ委員会　16日　9名　高速スキャナーのデモとスケジュールの確認。
④メディア委員会及び⑤ＨＰ制作部は休会
○鵠沼松が岡公園愛護会 3日17名、18日10名 清掃
○藤が谷公園愛護会 10日７名 31日８名　清掃
○ヤングハーツ６日9(5)名 11、12月曲の自主練習
○おもちゃの病院 10日参加12(2)名 来院28名(修理20引取7)、24日参加11(1)名 来院32名、31日整理
○鵠っ子囲碁・将棋ルーム 17日 参加者子供12名クラブ5(1)名 父兄８名 予約制で久しぶりの対戦
○極楽部会 20日 15名 「死生観」講師坂口さん
○健康部会　雨のため中止
○農園部会３日６名、21日４名、23日６名　秋ナス、サトイモ、落花生の収穫
○談話室 20日 13名 認知症/おもちゃの病院/くぐひ
○デジタル情報部会 25 日 19 名 デジカメ写真/写真の/気象予測とコンピューター
○ヤングブラザーズ９日11(3)名、23日13(3)名 自主練、11月より正式練習
○似歌会　通信句会 10名30句
以下の部会は新型コロナ感染対策等のため休会
○子どもと遊ぶ会○災害研究部○サロン会 ○探訪部会 ○カラオケ部会　○近代史を語る会 ○企業研究部会 ○なつかしの名盤愛好会 ○おひる探Ｑ会

11月　November

○例会９日(火) 37名 佐伯浩さんの休会を承認。探求QRコードの説明。忘年会見送りを了承。来年２月の15回地域活動見本市参加を承認。公民館パネル展の資料作成について説明と依頼。
○世話人・委員会 ①世話人会　3日６名　②くぐひ制作部10日９名 第108号第２回編集会議 ③アーカイブ委員会 20日 8名 高速スキャナー、タイムスケジュール改定案、収録ストレージ等議論 ④メディア委員会・HP制作部 休会
○行事 48回ゴルフコンペ 1日 12名(1) 鎌倉パブリックゴルフ
○鵠沼松が岡公園愛護会 7日15名､21日12名　清掃。ベンチ製作やパネル展について討議。
○藤が谷公園愛護会 14日 13名(2) 花壇に秋冬用の花の植え付け。清掃
○ヤングハーツ 3日 16名(9) 鵠洋児童館でのクリスマス会に備え練習。
○おもちゃの病院14日10(1)名 来院30名、28日13(2)名 来院27名 修理も順調。
○鵠っ子囲碁・将棋ルーム 21日 子供９名 探求８名公民館２名、11月も予約制
○災害研究部会 6日 14名(1)、観天望気など
○極楽部会 17日 15名、家族信託(講師池田修さん)
○健康部会 26日 12名、湘南海風コース
○農園部会 7日､11日､16日､20日に4～6名 で作業。キャベツ等収穫、さやえんどう種まきなど。
○談話室　17日14名 敬老会トピックや防災関連。
○デジタル情報部会 22 日 20 名 Google フォト、Windows11、航空管制とコンピューター、
○俳句の部会｢似歌会｣第110回通信句会10名30句
○ヤングブラザーズ 13日 16名(5)、27日 13名(3) 1年振りに正式練習再開。
以下の部会は新型コロナ感染対策等のため休会
○子どもと遊ぶ会　○サロン会　○探訪部会
○カラオケ部会　○近代史を語る会　○企業研究部会
○なつかしの名盤愛好会　○おひる探Ｑ会

()内はゲスト人数で内数

クラブ短信

１．ボウリング大会開催

久しぶりに第20回のボウリング大会が10月13日に江ノ島ボウルで開催された。参加者は９名、うちゲスト１名。初参加は鈴木実さんと坂口さん。優勝は玉田さん、2位に山田さん、3位は鈴木実さんであった。鈴木英紀さんから栗の差し入れがあり、飛び賞として贈呈された。

「おもちゃの病院」にまつわる感動的なお話

塙 泉

去る 6 月末、「おもちゃの病院」にかなり使い込まれた「ぬいぐるみ人形」が修理のため持ち込まれましたが、当時は、あいにくコロナ禍で閉院したりしていて病院は混乱中、修理待ちのおもちゃが山積していて、この「ぬいぐるみ人形」の修理には、なかなか手が付けられぬ状況でした。

しかし、10 月を迎えるころには、メンバー全員が奮闘して修理待ちのおもちゃはほぼ解消。最後に残ったのがこの「ぬいぐるみ人形」でして、たまたま私が修理を担当することになりました。

さっそく修理に取り掛かったのですが、私にとっては初めて挑戦するおもちゃ。どうやって遊ぶのか、構造はどうなっているのかを理解するとろから始まりました。

幸い取扱説明書がありましたので、それと首っ引き。開院時間の 2 時間では時間が足りず、おもちゃともども自宅に持ち帰り、時間をかけてジックリ調べた結果、故障原因を探り当てることが出来、さっそくそれを直したら、目を閉じたり、しゃべったりするようになりました。

しかし、これで「完治」したのか 確信が持てず、私から直接依頼者に電話を差し上げて、手のボタンを操作することによる人形の挙動、歌を歌い始める動作などを逐一確認し合い、その結果、「完治」したことを確信することが出来ました。

その電話の折り、依頼者（女性）は 思いもよらぬ感動的な話をされました。

「あの人形は、8 年前、母が購入しまして＜ミルルちゃん＞と命名、以来母の話し相手として、とても可愛がっていたのですが、その母は数年前老人ホームに入ることになり、ミルルちゃんも一緒に持って行きました。しかし、残念ながらミルルちゃんは壊れてまったく動かなくなってしまいました。母がしきりに悲しがるので、なんとか直そうとして横浜のデパート内にある『おもちゃの病院』に 2 回ほど持って行ったのですが、直りませんでした。そこで失礼ながらダメ元と思い、鵠沼公民館『おもちゃの病院』に入院させた次第です」

さらに続きます。

「このたびの電話で、あのミルルちゃんが直ったとお聞きし、望外の喜びです。さっそく母に報告しなくてはなりません。実は、母は去る 8 月に亡くなりました。元気によみがえったミルルちゃんを一目見せてあげたかったのですが・・・なんだかミルルちゃんが母の生まれ変わりのように思えてなりません。」と電話の向こうで涙声で話をされました。

これをお聞きして、私も目がウルウルしてくると同時に、おもちゃドクターとして冥利に尽きる瞬間でした。

本当はもっと早くお返し出来れば良かったのですが、残念ながらあまりにタイミングが悪過ぎました。

クラブ短信

2．ゴルフコンペ開催

クラブの第 48 回ゴルフコンペが 11 月 1 日に鎌倉パブリックゴルフ場で行われ、ゲスト 1 名を含む 12 名が参加した。久しぶりに東京から米今さんも参加し、好天にも恵まれプレイを楽しむことができた。優勝は嶋村さん、2 位は佐々木（裕）さん、3 位は塩川さん、ベストグロスは玉田さん。

編集後記　新型コロナに翻弄された 2 年が経過し、脱コロナの期待がかかる新年を迎えた。巻頭には世話人副代表の田中（章）さんが登壇し新年の抱負を披露。年男のコーナーには 84 歳になる鈴木（英）、谷村、東田、72 歳になる田中（章）、池田（雄）、小川、坂口の寅年男各氏が登場した。部会紹介の欄には創立後 6 年を経過し新たな局面を迎えた極楽部会について嶋村部会長が説明。「ビフォア・アフター」には森（正）さんと奥村さんが登場。「明日から役立つ気象の話」では小川さんが第二話を執筆。私の趣味欄には坂口さんが登場。自由席では塩川が健康に関する記事を投稿。塙さんはおもちゃの病院にまつわるエピソードを紹介。誌面がひっ迫したので二つの恒例のイベント「ボウリング大会」と「ゴルフコンペ」は簡単な紹介にとどまった。　（塩爺）

会報　くぐひ　第 108 号
2022 年 1 月 1 日
発行 くげぬま探求クラブ
発行人 大木 信一
編集長 塩川 昌男